

**「さぬき市男女共同参画プラン」策定に向けての
教職員アンケート調査
－ 報告書 －**

**平成24年10月
香川県 さぬき市**

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1. 性別構成	3
2. 年齢別構成	3
III 調査結果	4
【1】学校での男女平等について	4
1. 生徒に対する「女らしく」「男らしく」の言い方	4
2. 生徒に女子と男子で違う扱いがなされがちと感ずること	9
3. 生徒に女子と男子で違いを感ずること	12
【2】DVについて	15
1. デートDVの認知状況	15
2. 生徒のデートDVについて	16
3. デートDVについての生徒からの相談	17
4. デートDVの予防啓発に適切と思う時期	18
【3】男女平等教育について	19
1. 男女平等に関する教育の取り組み状況	19
(1) 取り組み状況	19
(2) 取り組み内容	20
2. 学校で男女平等の実現のために必要と思うこと	22
【4】男女共同参画について	24
1. 自由記述回答集約結果	24

I 調査の概要

【調査の目的】

「さぬき市男女共同参画プラン」の改定にあたり、市内中学校教諭における男女共同参画に関する教育現場での意識や実態、問題点や意見等を調査し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的に実施した。

【調査対象】

市内中学校の教諭

【調査方法】

各学校を通して配布、回収

【調査時期】

平成 24 年（2012 年）5 月～7 月

【回収結果】

発送数 ----- 80 件

有効回収数 ----- 66 件

有効回収率 ----- 82.5%

注:有効回収数とは、回収票のうち無効票(無記入票)を除外した「集計対象数」を示す。

【聴取項目（大項目）】

◇回答者属性

◇学校での状況について

◇DVについて

◇男女平等参画教育について

【報告書の見方について】

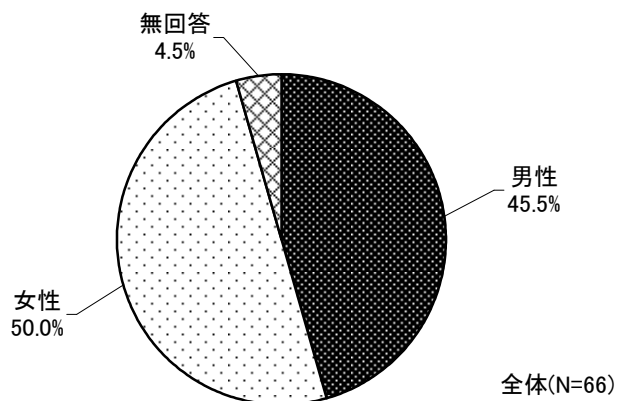
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数^{*}を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 設問によっては、平成15年度及び20年度に実施された、同調査との比較を行っている(時系列推移)。その際、図表等の表記は平成15年度調査を「前々回(H15)」、平成20年度調査を「前回(H20)」と略記している。
- (7) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

※(例)問Aで1と回答した人のみが、問Bを答える場合の問Bの基数、あるいはクロス集計における各属性(「男性」や「20歳代」…)など、限定された回答者数

II 回答者の属性

1. 性別構成

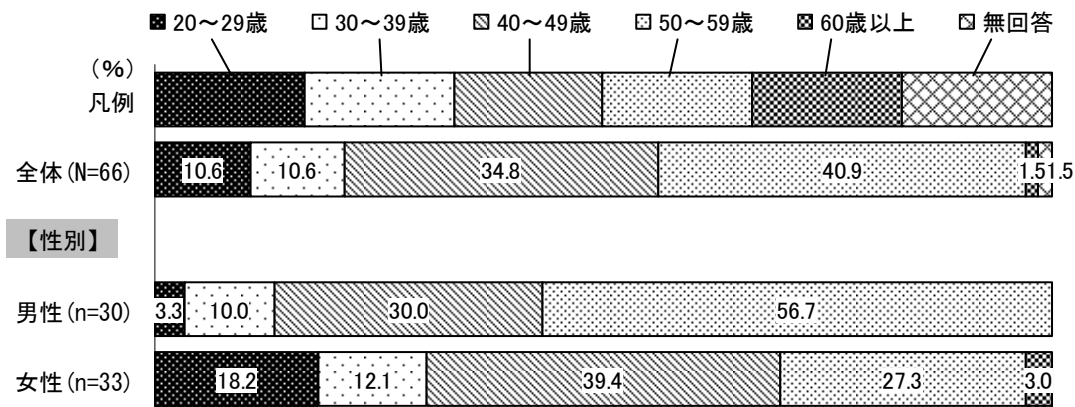
回答者の性別構成は、「男性」が45.5%、「女性」が50.0%と、やや女性の割合が高いが、おおむね二分している。



2. 年齢別構成

年齢別構成は、「50～59歳」が40.9%と4割を占めて最も高く、次いで「40～49歳」が34.8%で続き、これら『40～59歳（合計）』で全体の7割以上（75.7%）を占めている。

性別では、男性は女性に比べ相対的に年齢層が高く、女性は「20～29歳」が2割近くを占めている。



Ⅲ 調査結果

【1】学校での男女平等について

1. 生徒に対する「女らしく」「男らしく」の言い方

問1. あなたは、生徒に対して、「女らしく」「男らしく」(「女だから」「男だから」、「女のくせに」「男のくせに」という言い方をすることがありますか。1つだけ選んで○印をつけてください。

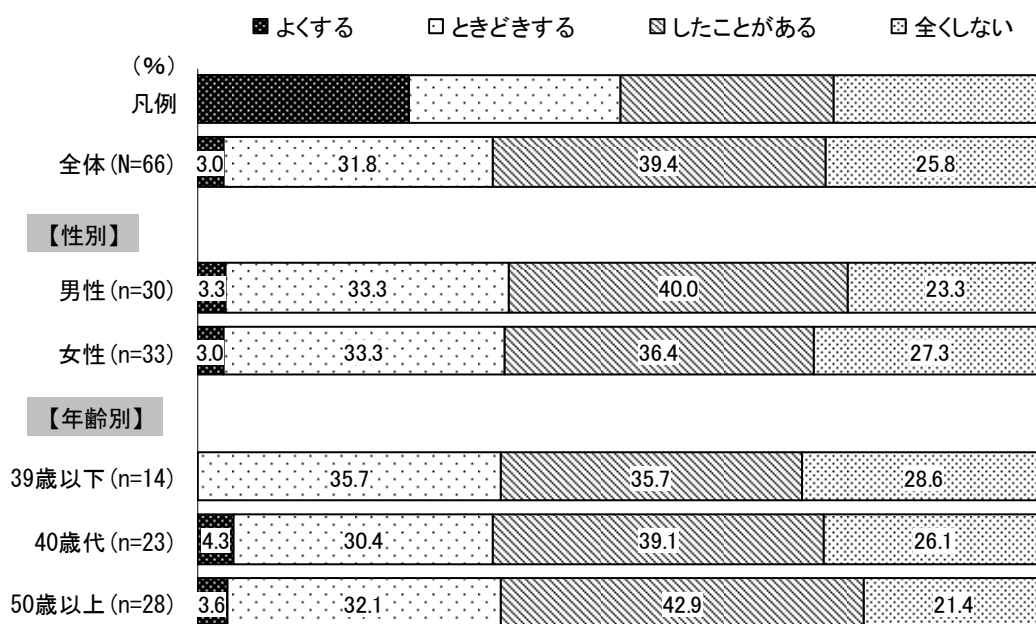
問1-2. どのようなことに対して「女らしく」(「女だから」「女のくせに」と言いますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

問1-3. どのようなことに対して「男らしく」(「男だから」「男のくせに」と言いますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

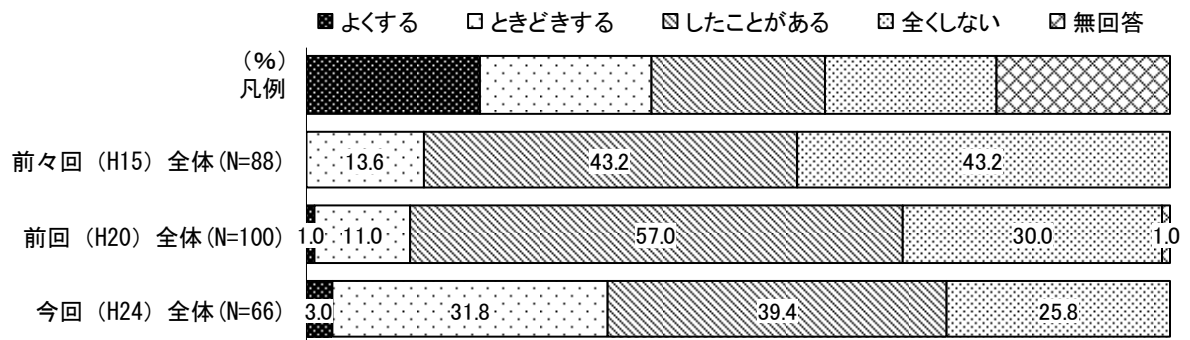
生徒に対する「女らしく」「男らしく」の言い方については、「よくする」が3.0%、「ときどきする」が31.8%で、合計34.8%が日頃『する』と回答している。「したことがある」割合は最も高く39.4%となっている。

性別では、男性で「したことがある」割合がやや高いが、大きな差は目立たない。

年齢別では、年齢が上がるほど「したことがある」割合も増える傾向にあり、「よくする」の回答もみられる。

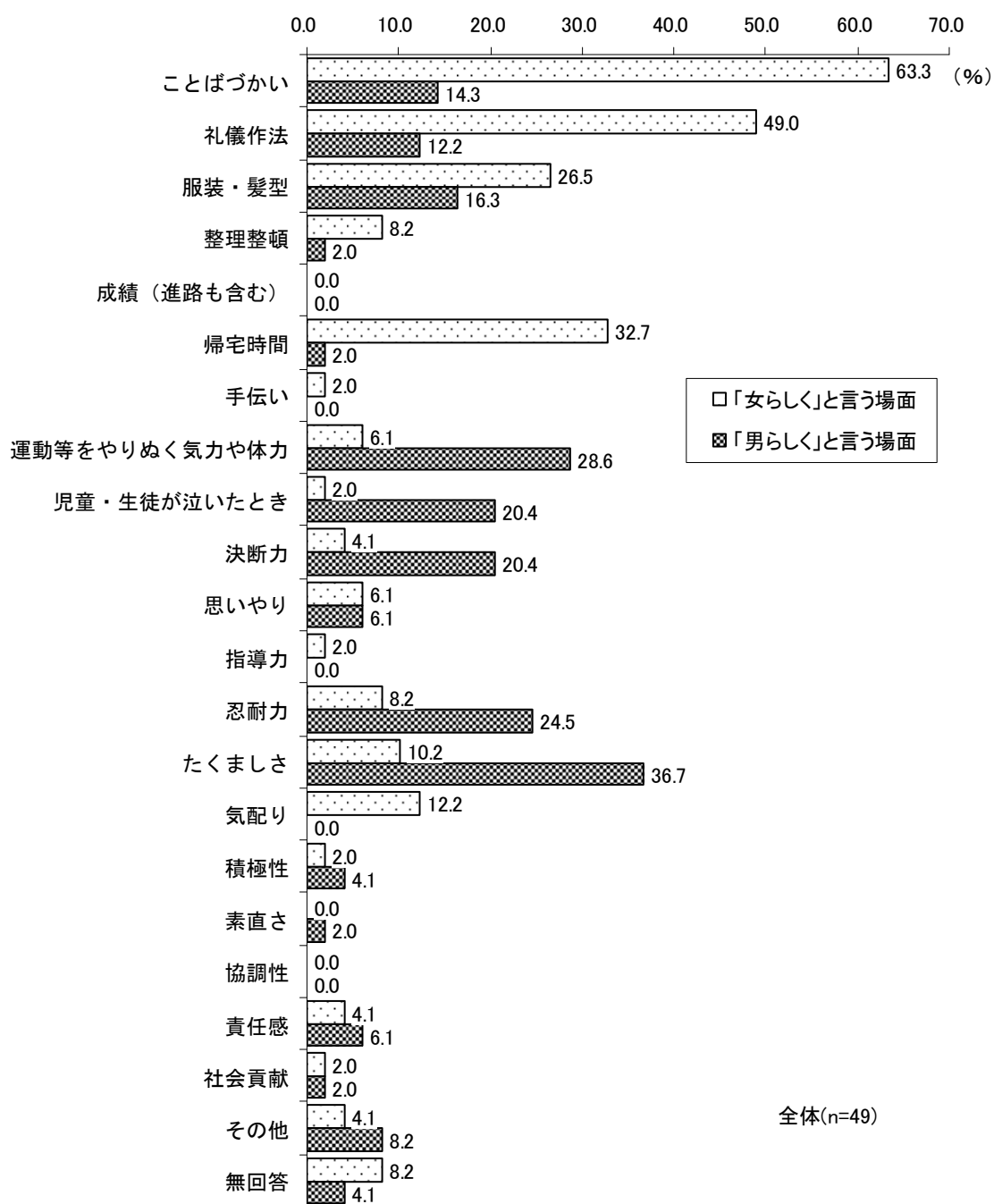


【参考／時系列推移】

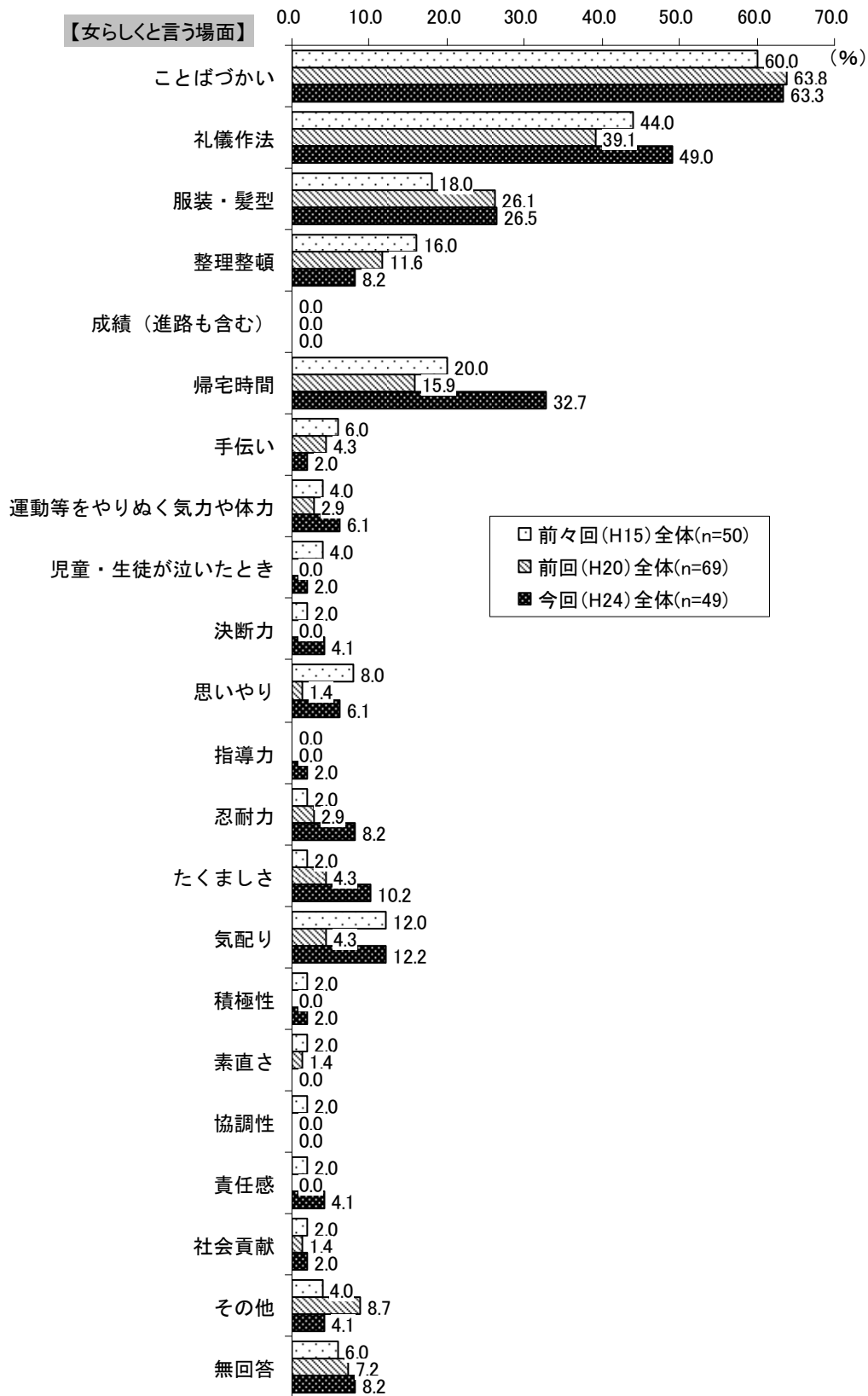


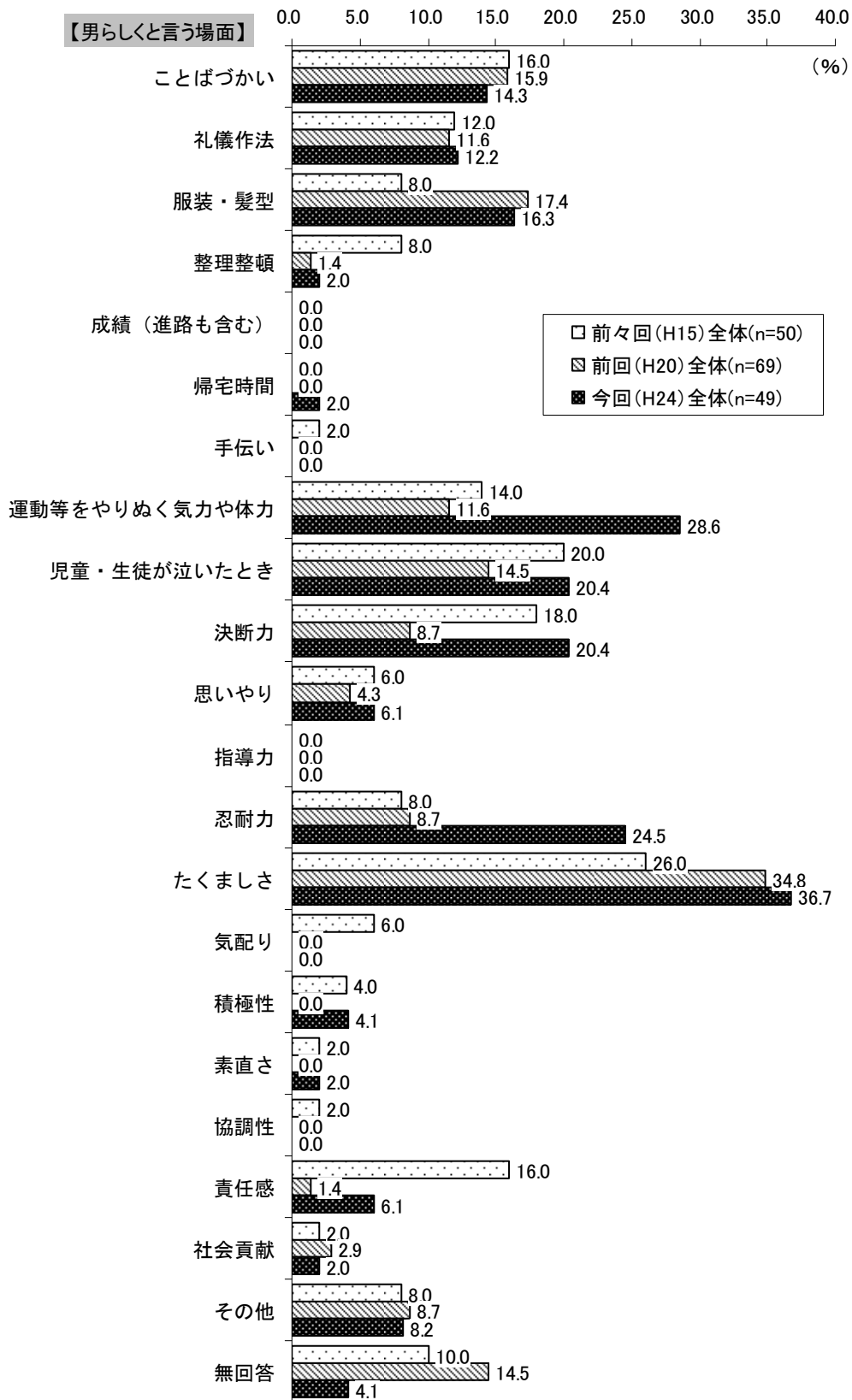
生徒に「女らしく」「男らしく」という言い方を「よくする」「ときどきする」あるいは「したことがある」の回答者における、その場面については、「女らしく」と言う場合「ことばづかい」の割合が63.3%と最も高く、次いで「礼儀作法」(49.0%)、「帰宅時間」(32.7%)、「服装・髪型」(26.5%)の順となっている。「男らしく」と言う場合は「たくましさ」(36.7%)、「運動等をやりぬく気力や体力」(28.6%)、「忍耐力」(24.5%)、「決断力」「児童・生徒が泣いたとき」(各20.4%)などの順となっている。

男女差が大きいのは「運動等をやりぬく気力や体力」「児童・生徒が泣いたとき」「たくましさ」などで「男らしく」と言う割合が高く、「ことばづかい」「礼儀作法」「帰宅時間」「気配り」などで「女らしく」と言う割合が高い点で差が目立つ。



【参考／時系列推移】

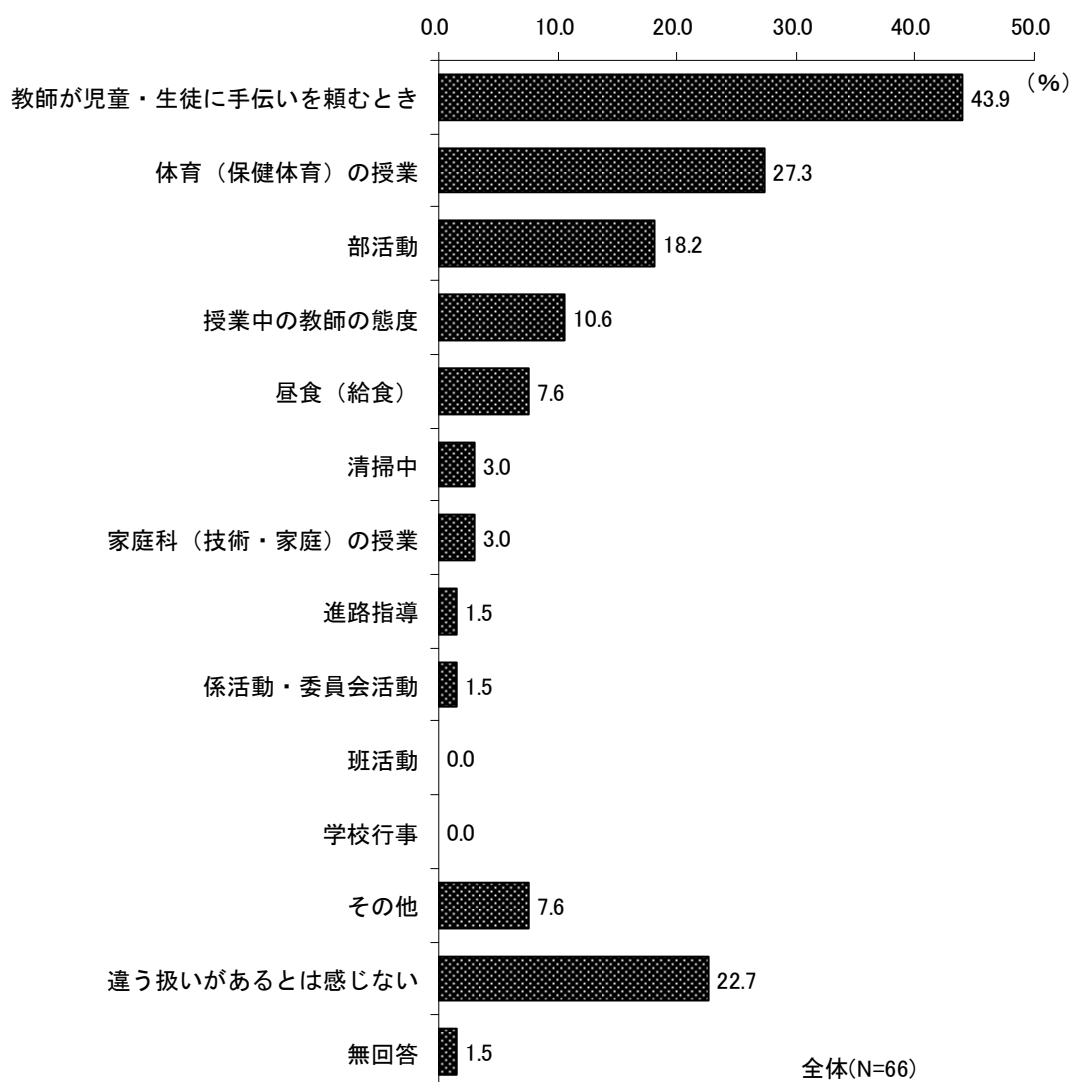




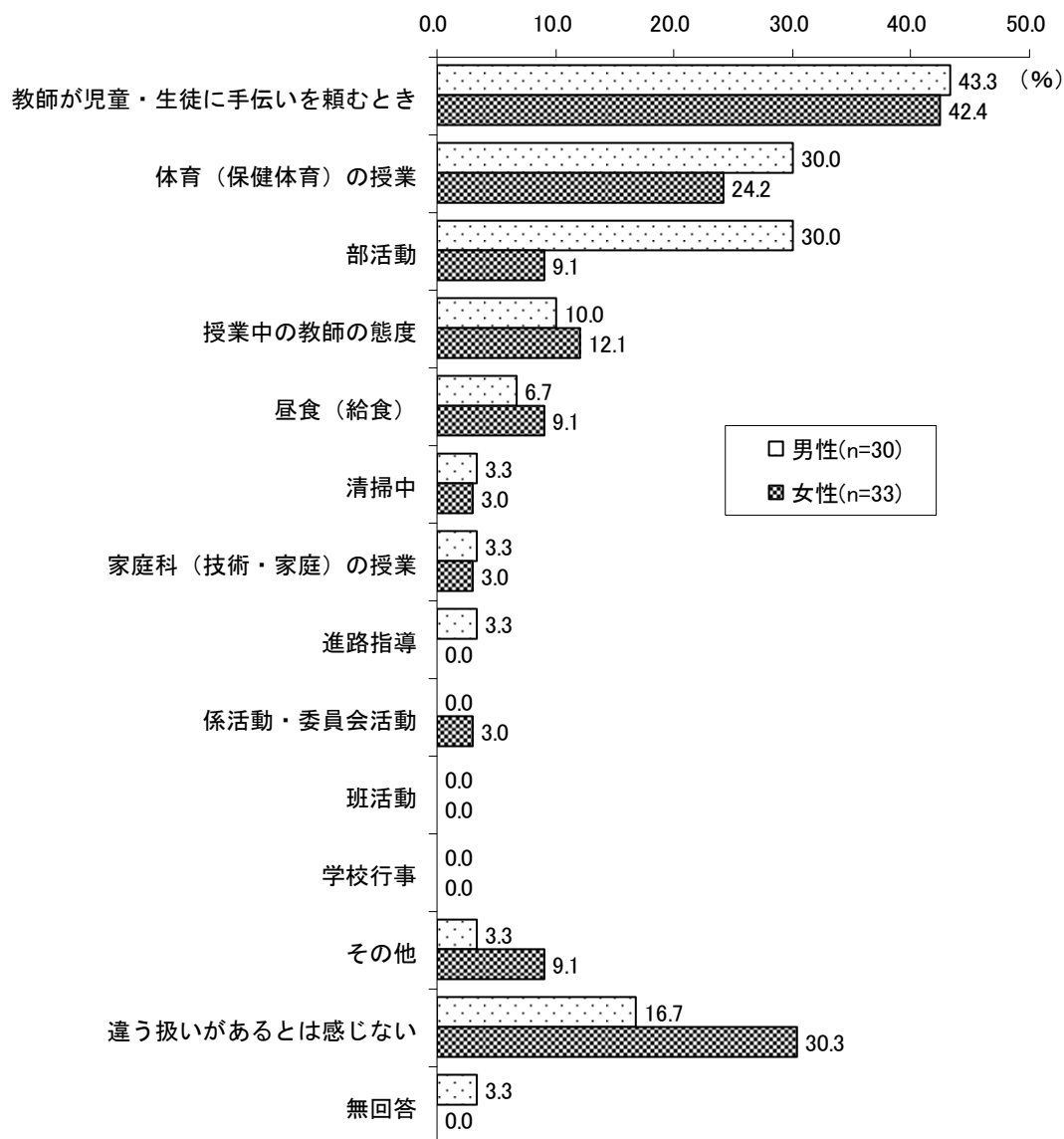
2. 生徒に女子と男子で違う扱いがなされがちと感じること

問2. 学校において、女子と男子とでは違う扱いがなされがちだと感じることがありますか。次の中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

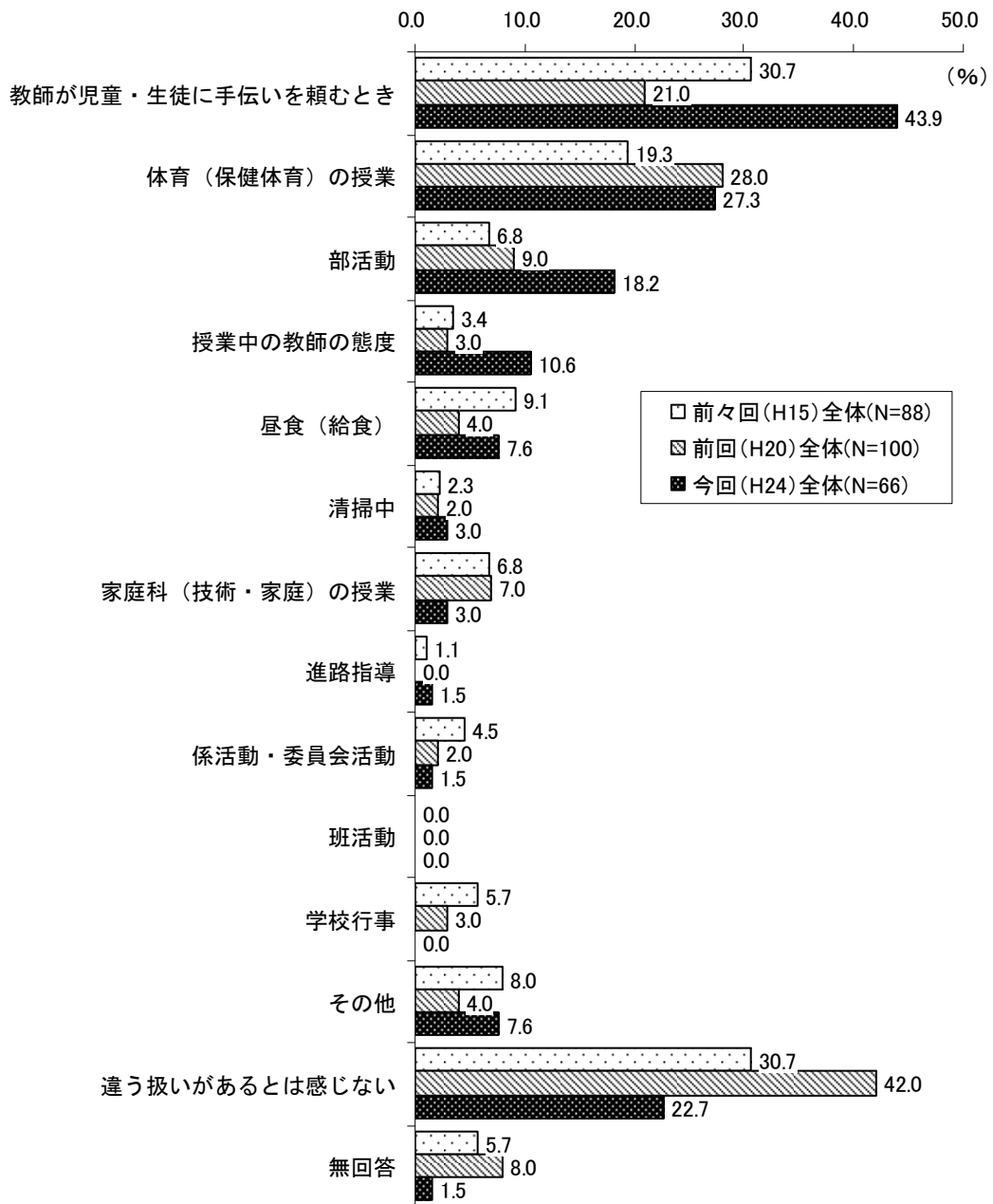
生徒に女子と男子で違う扱いがなされがちと感じることについて、「違う扱いがあるとは感じない」割合が22.7%であることから、およそ7割程度が何らかの扱いの違いを認識しているとみられる。その内容としては「教師が児童・生徒に手伝いを頼むとき」が43.9%と最も高く、次いで「体育（保健体育）の授業」（27.3%）、「部活動」（18.2%）、「授業中の教師の態度」（10.6%）の順となっている。



性別でみると、男性は女性に比べ「体育（保健体育）の授業」「部活動」「進路指導」などの割合が高く、女性は「係活動・委員会活動」「違う扱いがあるとは感じない」などで男性を上回っている。



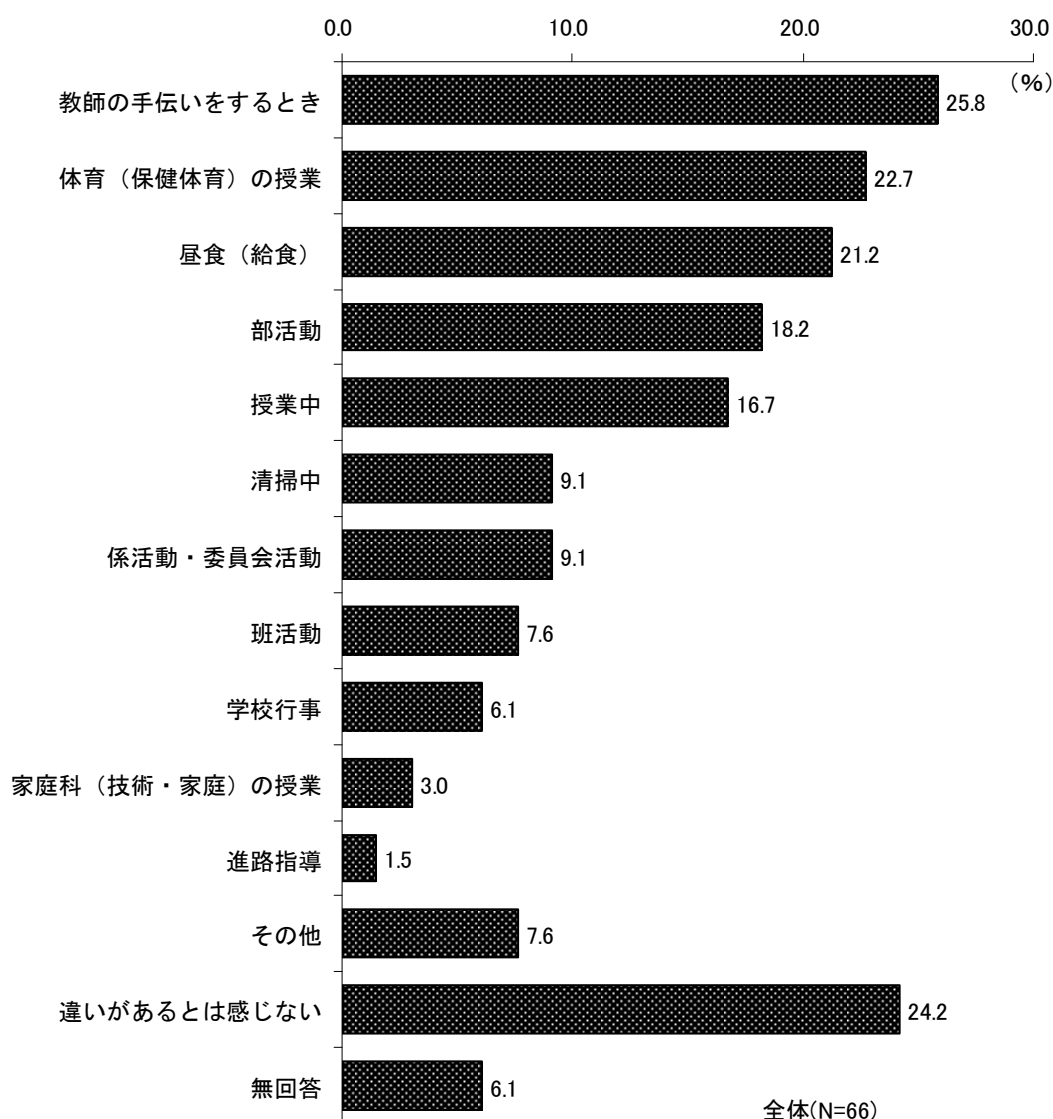
【参考／時系列推移】



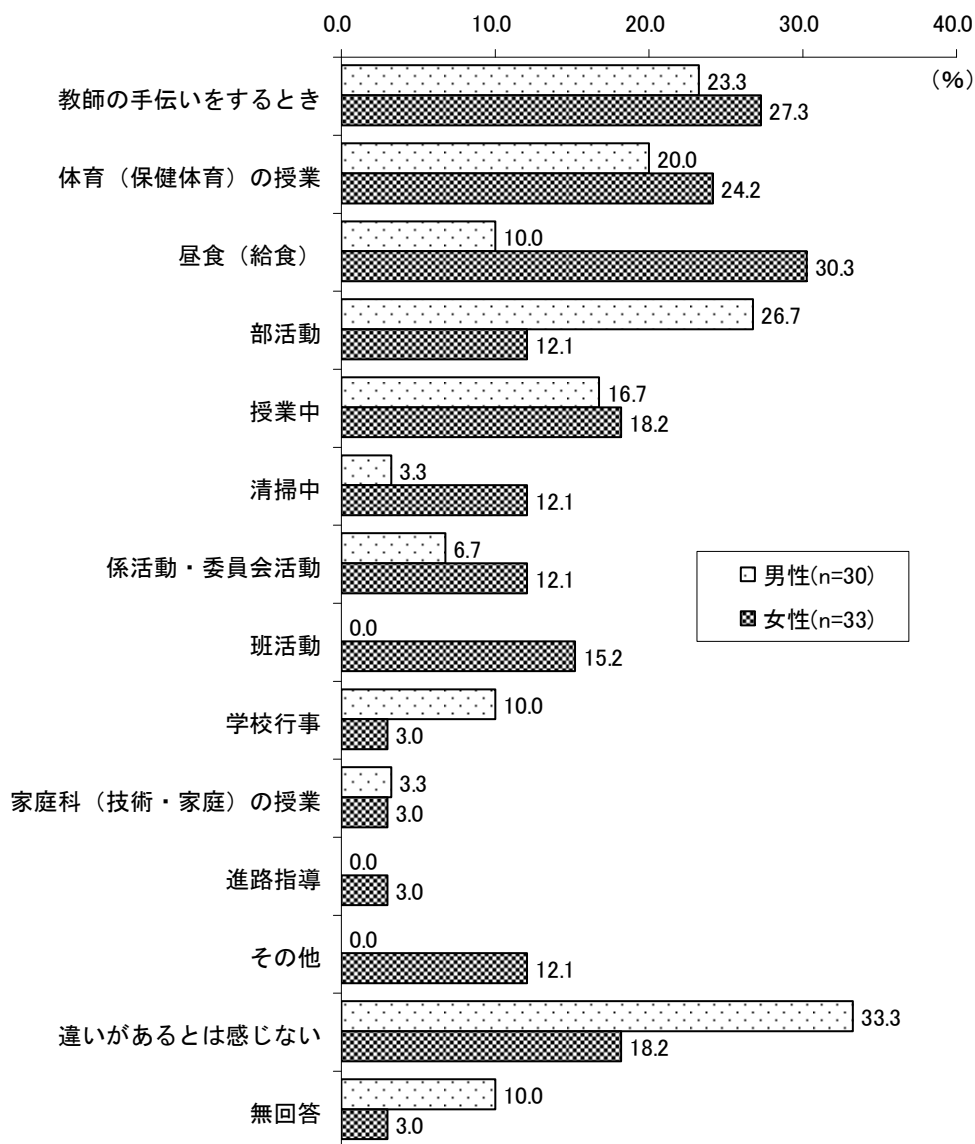
3. 生徒に女子と男子で違いを感じるごと

問3. 生徒の様子、女子と男子とで違っていると感じる場合がありますか。次の中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

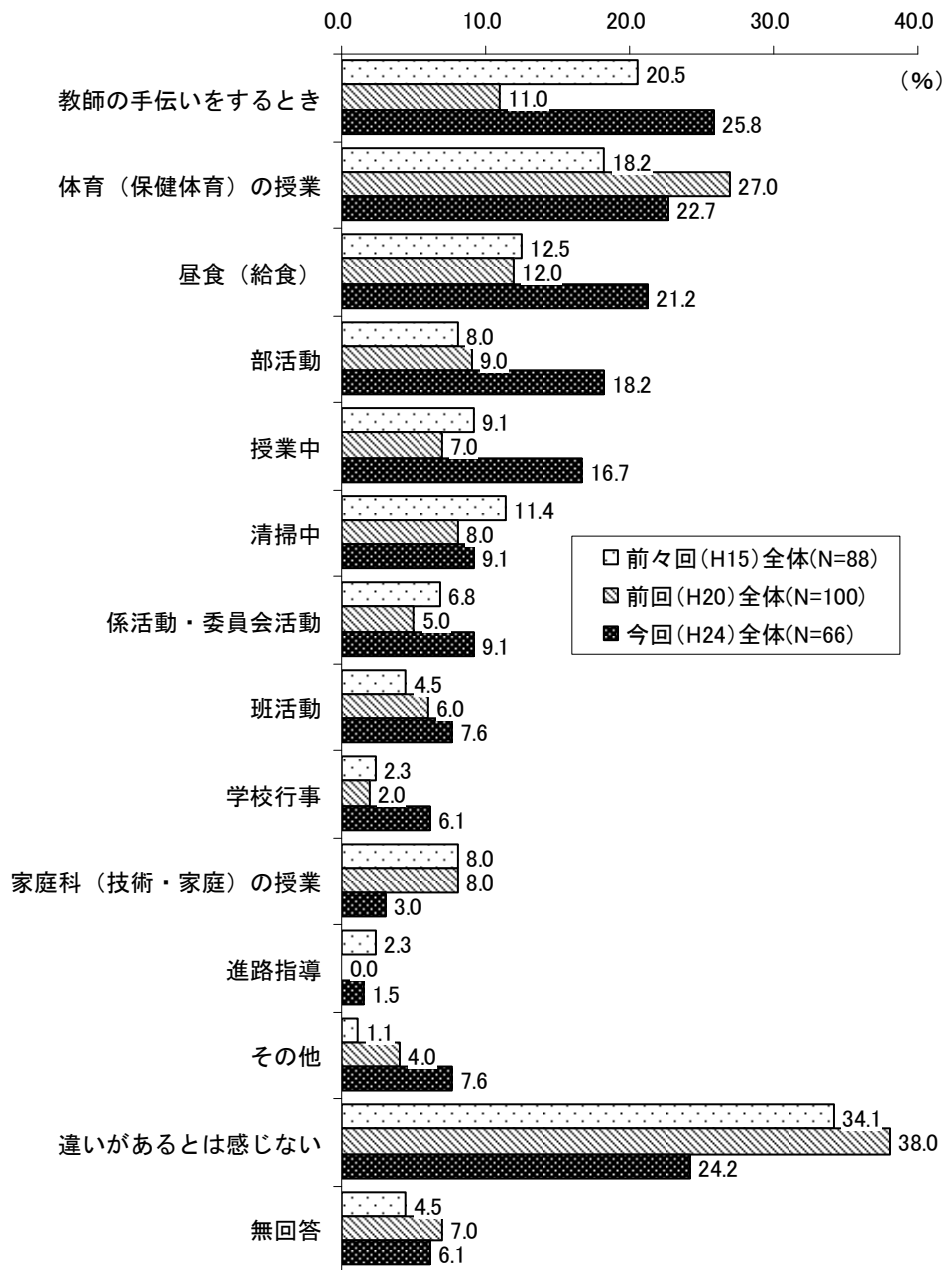
生徒に女子と男子で違いを感じることについては、「違いがあるとは感じない」割合が24.2%であることから、およそ7割程度が何らかの違いを認識しているとみられる。その内容としては「教師の手伝いをするとき」の割合が25.8%と最も高く、次いで「体育（保健体育）の授業」（22.7%）、「昼食（給食）」（21.2%）、「部活動」（18.2%）、「授業中」（16.7%）の順となっている。



性別でみると、男性は女性に比べ「部活動」「学校行事」などの割合が高く、女性は「昼食（給食）」「清掃中」「係活動・委員会活動」「班活動」などで男性を上回っている。また、「違いがあるとは感じない」割合は男性が女性を大きく上回っている。



【参考／時系列推移】



【2】DVについて

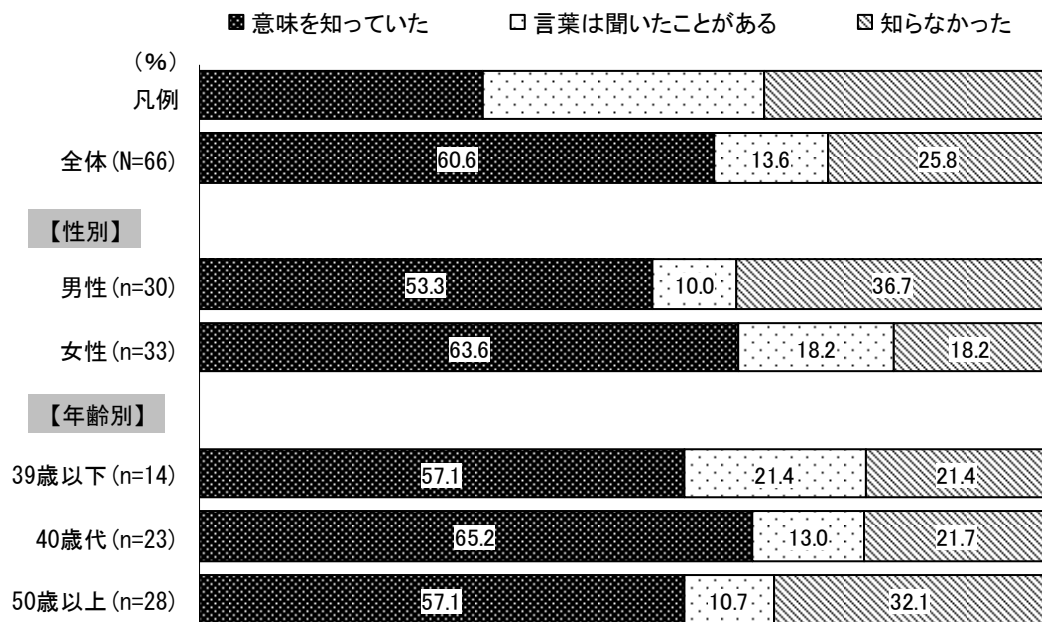
1. デートDVの認知状況

問4. 一緒に暮らしていない恋人同士の間で起こる体、言葉、態度による暴力のことをデートDVと
いいます。あなたはこの言葉を知っていましたか。1つだけ選んで○印をつけてください。

デートDVの認知状況については、「意味を知っていた」割合が60.6%と最も高く、「言葉は聞いたことがある」が13.6%となっており、合計74.2%の認知率となっている。「知らなかった」は25.8%と、およそ4人に1人である。

性別では、特に女性で認知率が高く、男性を大きく上回っている。

年齢別では、40歳代で「意味を知っていた」割合が他の年齢層に比べ高くなっている。
また、50歳以上では「知らなかった」割合が他の年齢層に比べ高い。

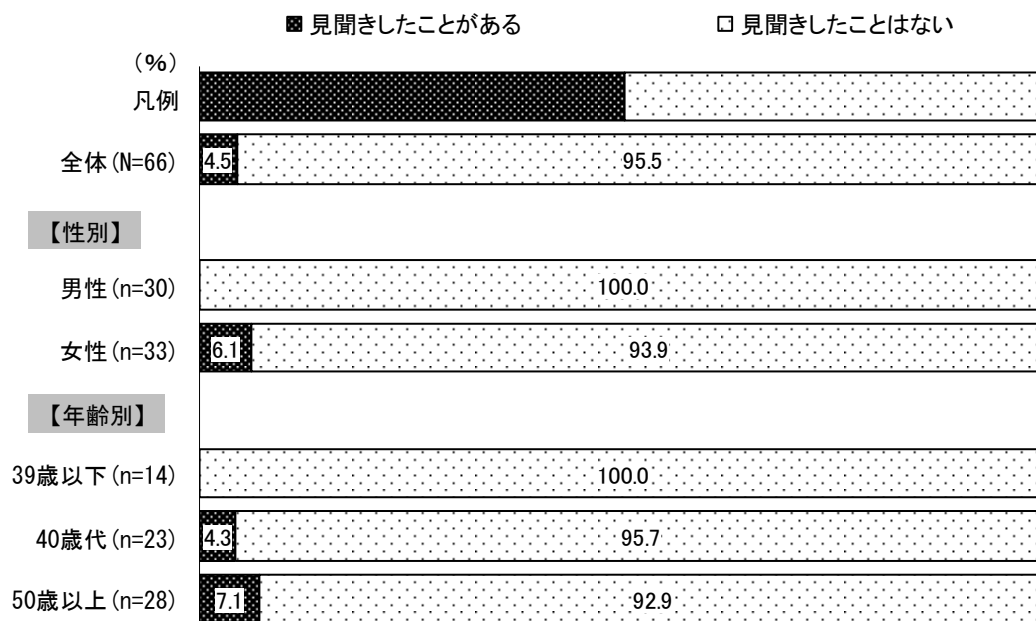


2. 生徒のデートDVについて

問5. あなたの職場で、生徒のデートDVを見聞きしたことはありますか。1つだけ選んで○印をつけてください。

生徒のデートDVについて、「見聞きしたことがある」割合は4.5%であった。

性別では女性、年齢別では年齢が上がるほど「見聞きしたことがある」回答がみられるが、いずれも1割未満となっている。

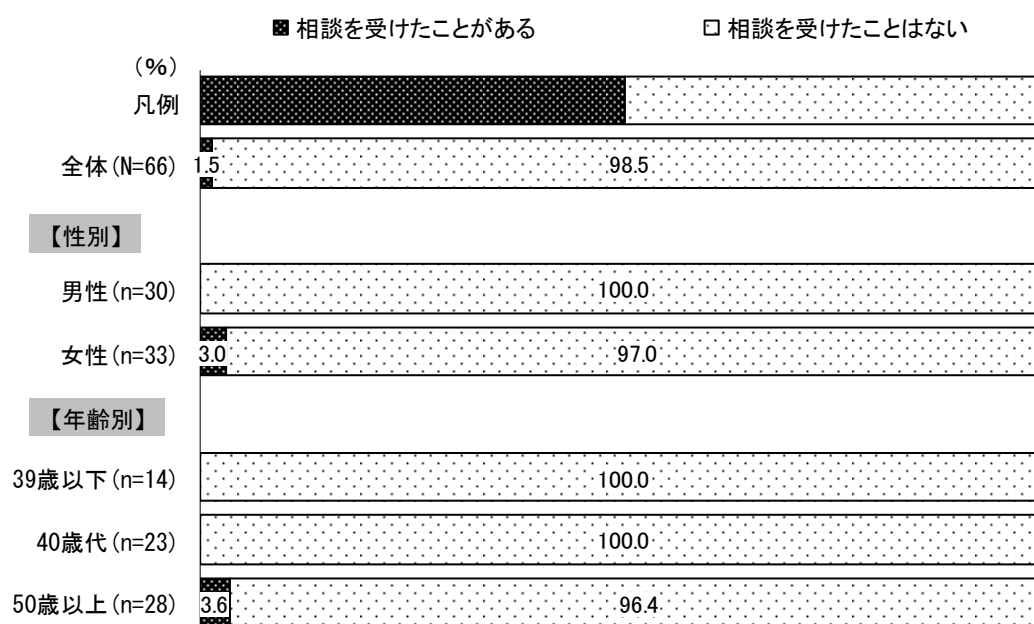


3. デートDVについての生徒からの相談

問6. あなたは、デートDVについて生徒から相談を受けたことはありますか。1つだけ選んで○印をつけてください。

デートDVについての生徒からの相談について、「相談を受けたことがある」割合は1.5%であった。

性別では女性、年齢別では50歳以上で「相談を受けたことがある」への回答がみられるが、いずれもその割合は低い。



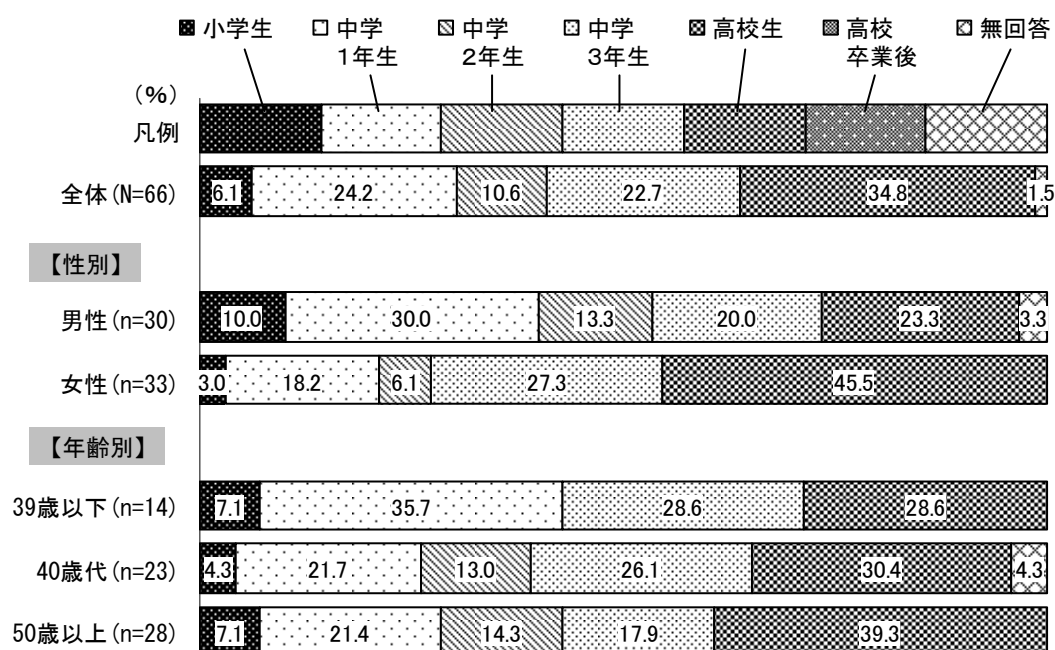
4. デートDVの予防啓発に適切と思う時期

問7. デートDVの予防啓発を受けるのはいつ頃がよいと思いますか。1つだけ選んで○印をつけてください。

デートDVの予防啓発に適切と思う時期については、「中学1年生」の割合が24.2%、「中学2年生」が10.6%、「中学3年生」が22.7%となっている。「高校生」の割合は34.8%であるが、『中学生（合計）』では57.5%となっている。

性別では、男性は女性に比べ早い時期を回答している傾向にあるが、女性は「高校生」が男性を大きく上回っている。

年齢別では、年齢が上がるほど「高校生」の割合が増える傾向にある。



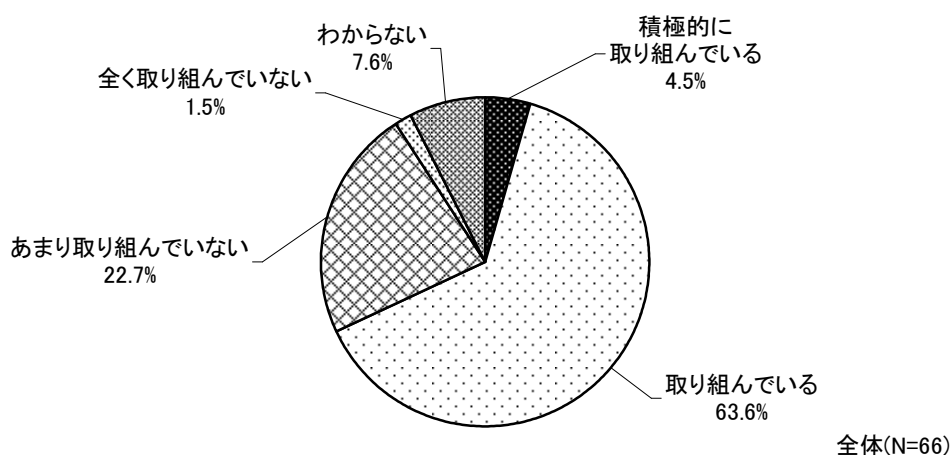
【3】男女平等教育について

1. 男女平等に関する教育の取り組み状況

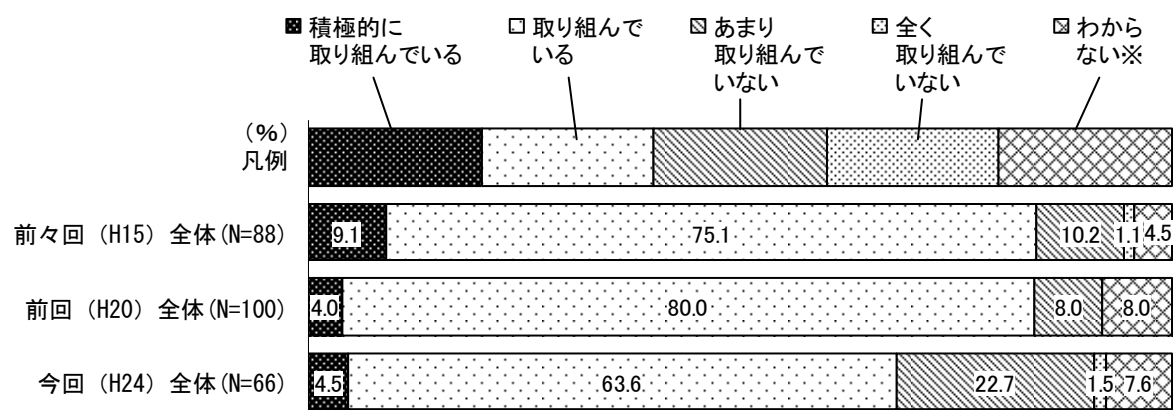
(1) 取り組み状況

問8. あなたの学校では、男女平等に関する教育の取り組みがなされていると思いますか。あてはまるものに○印をつけてください。

男女平等に関する教育の取り組み状況については、「積極的に取り組んでいる」割合が4.5%、「取り組んでいる」が63.6%で、合計68.1%が『取り組んでいる』と回答している。一方、「あまり取り組んでいない」(22.7%)、「全く取り組んでいない」(1.5%)の合計では24.2%となっている。



【参考/時系列推移】

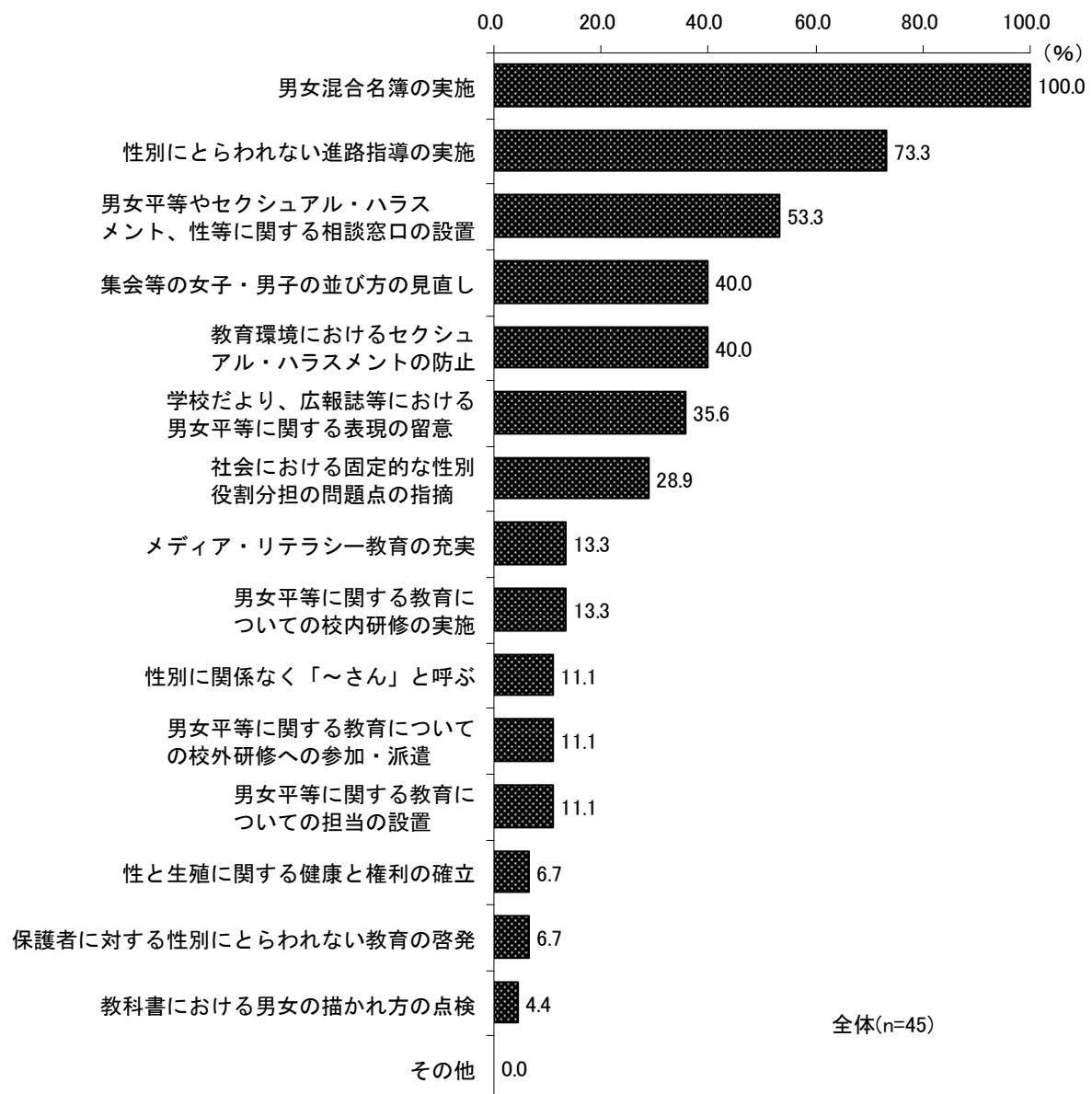


※「無回答」を含む

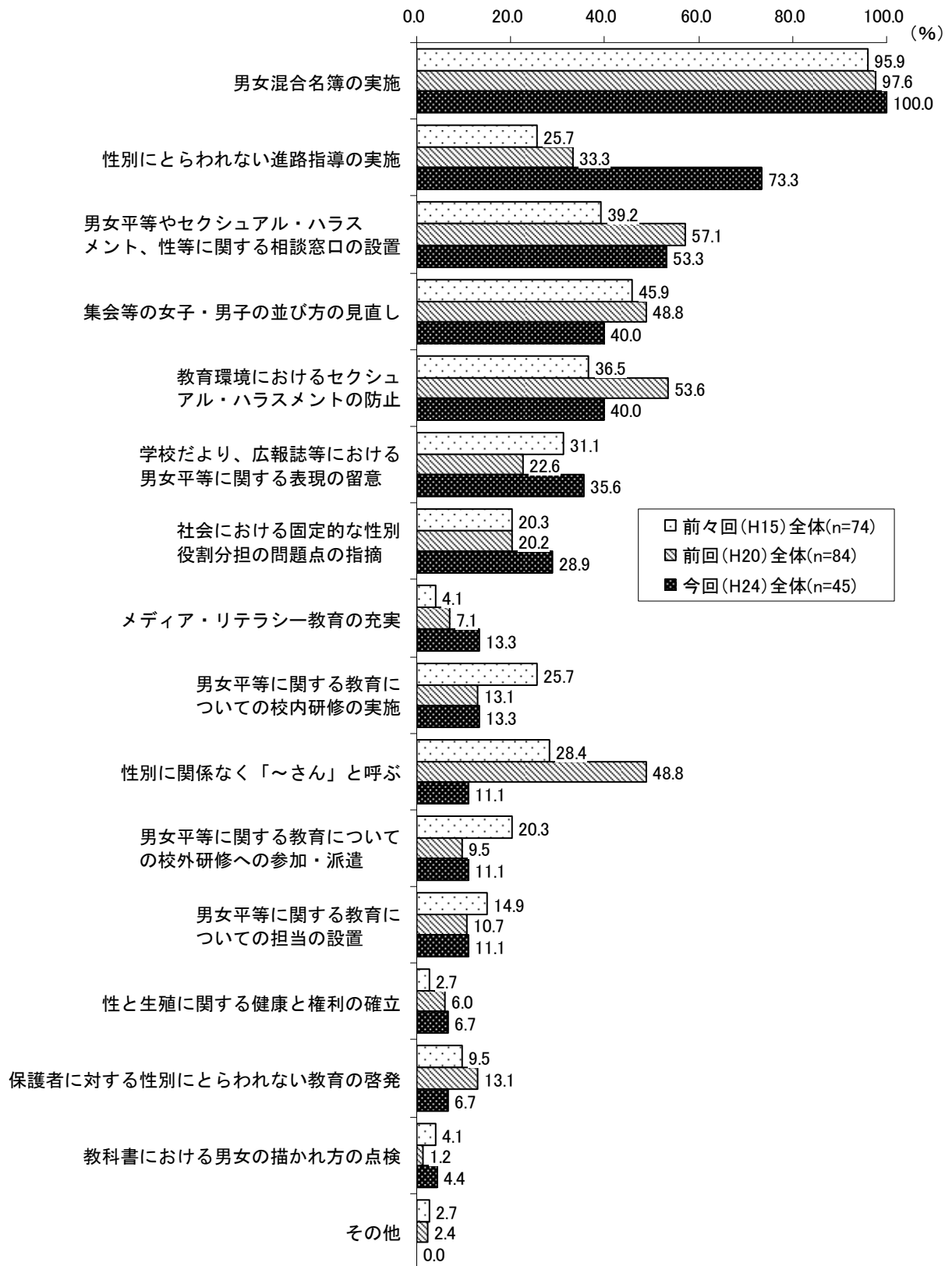
(2) 取り組み内容

問8-2. あなたの学校で、男女平等に関する教育として取り組んでいることは何ですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

男女平等に関する教育に取り組んでいる場合、その内容としては「男女混合名簿の実施」が100.0%と全員が回答、次いで「性別にとらわれない進路指導の実施」(73.3%)、「男女平等やセクシュアル・ハラスメント、性等に関する相談窓口の設置」(53.3%)、「集会等の女子・男子の並び方の見直し」「教育環境におけるセクシュアル・ハラスメントの防止」(各40.0%)の順となっている。



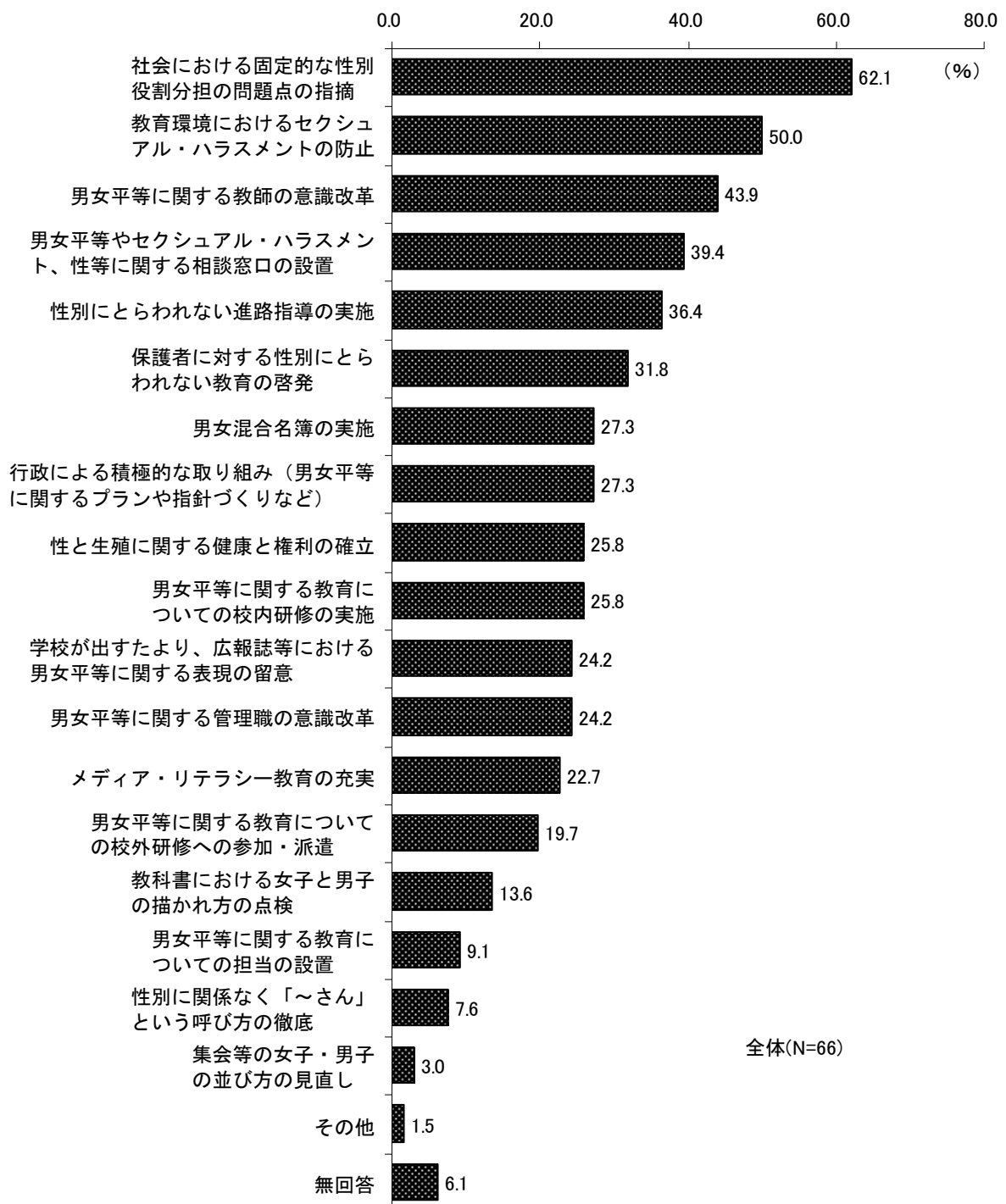
【参考／時系列推移】



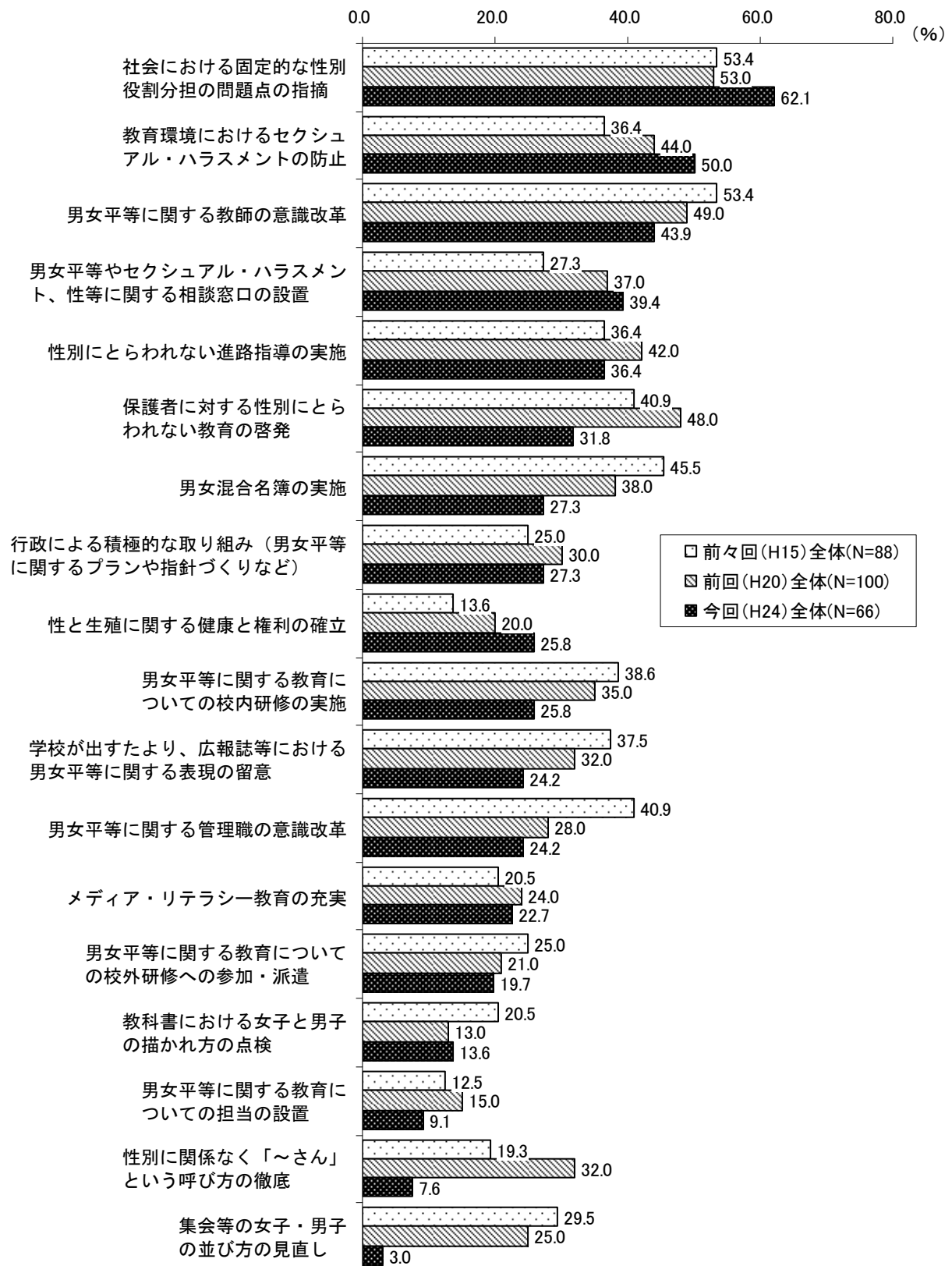
2. 学校で男女平等の実現のために必要と思うこと

問9. 学校において、男女平等の実現のために必要なのはどのようなことだと思いますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

学校で男女平等の実現のために必要と思うことについては、「社会における固定的な性別役割分担の問題点の指摘」の割合が62.1%と最も高く、次いで「教育環境におけるセクシュアル・ハラスメントの防止」(50.0%)、「男女平等に関する教師の意識改革」(43.9%)、「男女平等やセクシュアル・ハラスメント、性等に関する相談窓口の設置」(39.4%)、「性別にとらわれない進路指導の実施」(36.4%)の順となっている。



【参考／時系列推移】



注:「その他」「無回答」は省略している

【4】男女共同参画について

1. 自由記述回答集約結果

問 10. 「男女共同参画社会」についてご意見、ご要望等がありましたら、以下にお書きください。

「男女共同参画社会」に対する意見、要望等を自由記述方式（フリーアンサー）で尋ねたところ、以下のような意見がみられた。（男性、女性ともに 39 歳以下の記入は無し。）

男性 40 歳代

- ・管理職以外で手当の付く役職（学年主任や教務主任等）については、男女平等に割り振る必要があると思います。（男性 40 歳代）
- ・問 9-14. 15. について、校務分掌に関して、教員間で不均等な現状があります。実際の学校現場での改革がまず必要かと思います。きっとこのことは、他の職業においても類似しているのだろうなと思っていますが、いかがでしょうか。（男性 40 歳代）

女性 40 歳代

- ・差別と区別の違いは何なのか。男と女は決して同じではないのだから、そのあたりをきちんと押さえておくことが大切と思う。全体的に女子がしっかりしていて男子が弱くなっており、女性に依存してしまいそうな男性が多くなる可能性はある。そういう男性が暴力的になると思えるので、そのあたりを防ぐためにも男子の教育は必要。少なくとも今の男子では女性は守れません。（女性 40 歳代）
- ・すべてが男女平等というのはおかしいと思う。性差による特性もふまえ、本当の男女平等とは何かを考えるべきだと思う。（女性 40 歳代）
- ・男女平等とはどんな状態を言うのか。性差は現実にあるので、男らしさ・女らしさを認める中で、人としての平等を考えるとよい。（女性 40 歳代）
- ・美術部にポスター制作を依頼された。男女共同参画について一緒に考えたが、十分な学習をせずにポスターを描かせてしまった。また依頼があるなら、パンフレットを何部かくだされば、生徒にもっと考えさせたポスターが描かせられるかもしれないと思う。（女性 40 歳代）

男性 50 歳代

- ・学校教育で使う啓発資料（VTR など）が欲しい。（男性 50 歳代）
- ・管理職に女性を登用する。（男性 50 歳代）
- ・どのような職場であっても、性を区別してもお互いを尊重し合える人間関係づくりが大切である。人間として本来持っている「男らしさ・女らしさ」という長所はあるものだと思う。それをふまえた上で男女共同参画社会が成立するものだと思う。（男性 50 歳代）
- ・日本より中国の方がこの面で進んでいる。日本人女性の力を発揮してもらわないと、日本の先は心細いものになる。（男性 50 歳代）
- ・古い考え方の人間なので、まだ「男らしさ、女らしさ」とつい言うってしまう。しかし、性差があるのは当然だし、「～らしさ」が必要な場面、仕方ない場面はやはりあるのではないか。（男性 50 歳代）

女性 50 歳代

- ・男女共同参画社会の実現はとても重要なことだと思う。しかし、それぞれの特性というものがあるのだから、それを理解した上で男女平等を考えなければいけないと思う。(女性 50 歳代)
- ・男女平等に対しては、様々な場面での根本的な見直しと意識改革を要する。また、自分自身を見つめ直すことも大事である。(女性 60 歳以上)

性別不明

- ・現状のままで十分である。(性別不明、年齢不明)